

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

【「切除不能・困難な StageIV 大腸癌に対する原発巣切除に関する検討」 (Retrospective Study)】への協力をお願い

消化器外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんのデータを用いた臨床研究を行います。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表しません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

対象：2007年8月1日～2019年12月31日に一次治療として分子標的薬+オキサリプラチンを含めた積極的に化学療法を施行した切除不能・困難な StageIV 大腸癌約 120 例を対象としています。

研究実施期間：承認日～2023年3月31日

研究に用いる情報の種類：以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施される項目です。年齢、性別、診断名、腫瘍の局在、転移臓器、転移臓器数、レジメン（抗 EGFR 抗体薬・抗 VEGF 抗体薬など）、組織型、腫瘍マーカー、原発巣切除の有無、原発巣部位（左右、直腸）、予後、術式、手術時間、出血量、入院期間、術後合併症、術後病理検査結果、術後追加治療、再発の有無

この研究は、診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在・未来の診療には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報には匿名化させていただき、その保護には十分に配慮いたします。学会や論文などによる結果発表に際しても、個人の特定が可能な情報は全て削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には以下にご連絡いただきたいと思っております。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。研究から生じる知的財産権の帰属については、研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。また、研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

2020年2月3日

【連絡先】

岐阜大学医学附属病院 消化器外科

研究代表者：吉田和弘

担当者：高橋孝夫

電話：058-230-6235

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel：058-230-6059

E-mail: rinri@gifu-u.ac.jp